

第1回イノベータ講演会（1学年）

4月16日（水）に、新入生オリエンテーションが行われている国立赤城青少年交流の家に共愛学園前橋国際大学学長の大森昭生先生を講師に迎えて、「答えがないから面白い～課題研究の意義と進め方～」と題して第1回イノベータ講演会を実施しました。1年生にとっては初めての挑戦となる課題研究について、その意義や研究の進め方などについて丁寧に具体的に説明していただきました。

超スマート社会を意味する Society5.0 の時代に求められる予測困難な状況に対応できる力を身につけるために、答えがない課題に主体的かつ協働的に取り組み、解決のための手段や方法を思考していくことの大切さを教えていただきました。

講演後の質疑応答では、生徒からの質問もたくさんあり、有意義な講演会となりました。



グローバル教育研修報告会（1学年）

5月14日（水）の6限に、1年生を対象として「グローバル教育研修報告会」を体育館で行いました。昨年度に行われた明石塾、シンガポール研修、Youth Leader Program、Oxbridge研修について活動報告が、参加した2、3年生の生徒11名からプロジェクターを使って行われ、1年生の生徒は先輩の体験談を興味深そうに聞き入っていました。また、質問力を高めることを目的として、質問力をICE評価できるワークシートを使って1年生はメモを真剣に取り、相互評価を行いました。



ICE ループリック表（質的なループリック）

	I フェーズ	C フェーズ	E フェーズ
質問力	<ul style="list-style-type: none"> ○表面的な質問をすることができる。例えば、以下のような質問 <ul style="list-style-type: none"> ・不明な事柄に関する質問 ・単発的な質問 ・確認のための質問 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○報告内容に対する理解を深めるため、意図を持った質問をすることができる。例えば、以下のような質問 <ul style="list-style-type: none"> ・批判的な質問 ・前提を吟味する質問 ・背景を探る質問 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○報告内容を課題研究だけでなく、他の事への転用の可能性を探る質問をすることができる。 ○内容に対する新たな可能性を探る質問をすることができる。

昨年度、開発した教材・評価法等をWeb掲載しました！

昨年度、本校のSSHで開発したクロスカリキュラムの授業実践の指導案や授業プリント、課題研究の評価ループリックや自己調整学習者のレジュメなどを本校のホームページに掲載しました。中学・高校で活用ください。また、中学生、高校生のみなさんも是非取り組んでみてください。詳しくは、同じくホームページに掲載されている最新の報告書をご覧ください。 <https://maebashi-hs.gsn.ed.jp>

